

第17回 **JOTO** CUP

第37回大阪クリテリウム in 舞洲 / 第14回大阪タイムトライアル in 舞洲

テクニカルガイド

はじめに

コロナ禍感染症拡大防止対応で変更する場合があります。今後の掲示に注意すること。

1. スケジュール

内容	開始-終了予定時刻	場所
4月1日(土)		
開門	9:00	
タイムトライアル一般選手受付 (JCF登録選手は登録証を提示すること)	10:00-11:00	大会本部
試走	11:00-11:15	コース
競技開始	11:30-11:45	コース
表彰式	競技終了時随時	大会本部
クリテリウム高校生受付 (JCF登録選手は登録証を提示すること)	12:30-14:00	大会本部
試走	14:20-14:40	コース
JCF登録高校生女子 0.85km×10周=8.5km	14:50-15:05	コース
JCF登録高校生男子 0.85km×30周=25.5km	15:15-15:55	コース
4月2日(日)		
開門	7:30	
クリテリウム一般選手受付 (JCF登録選手は登録証を提示すること)	7:40-10:00	大会本部
試走	7:40-7:55	コース
ビギナー(C4) 0.85km×10周=8.5km	8:05-8:20	コース
40オーバーマスターズ 0.85km×15周=12.75km	8:25-8:47	コース
中学生・レディース 0.85km×10周=8.5km	8:55-9:12	コース
ビギナープラス(C3) 0.85km×15周=12.75km	9:20-9:41	コース
スポーツ(C2) 0.85km×20周=17.0km	9:50-10:17	コース
小学生の部 高学年 0.85km×8周=6.80km	10:20-10:34	コース
小学生の部 低学年 0.85km×5周=4.25km	10:40-10:51	コース
エキスパート(C1) 0.85km×25周=21.25km	10:55-11:29	コース
ミルク(当日受付)	11:35-11:50	コース
JCF登録女子 0.85km×22周=18.7km (JBCF Fクラスと同時出走)	12:10-12:41	コース

※表彰は、各カテゴリーの競技終了後、大会本部にて行う。入賞者は速やかに出席すること。

2. 競技内容

<タイムトライアル>

- ① 2km/周のコースを使用する。
- ② 各自スタート 15 分前までにスタート地点で、検車を受けること。（検車後はスタートエリアに留まること）
- ③ 1 名ずつのタイムトライアル形式とする。T T バイク、ディスク/バトンホイール、T T ヘルメットの使用を認める。
- ④ スタート時間に遅れた場合は、コースの特性上安全を確保する為、最後尾よりスタートとする。
この場合、スタート予定時間から遅れた時間を実走行時間に加えリザルトとする。

<クリテリウム>

- ① 0.85km/周のコースを使用する。
- ② 各カテゴリーのスタート 10 分前までに検車し、出走サインを完了し、所定の位置で待機すること。
- ③ モトの先導によるローリング・スタートとする。
- ④ アクチュアル（正式）スタートは、隊列が整ったと判断したタイミングで行う。
- ⑤ 先導モトコミッセルの指示に従うこと。

3. 競技規則

最新の（公財）日本自転車競技連盟（以下 JCF と記す）の競技規則集、本大会特別規則により運営する。

<タイムトライアル>

- ① 選手はホルダー（選手を支える役員）により支えられ、タイムキーパーの指示によりスタートする。

<クリテリウム>

- ① JCF 登録高校生男子、エキスパート(C1)の周回遅れはラップアウトとする。ただし、該当競走の成立に著しい支障を来す場合においては、この限りでない。（数名の周回アップはアドバンテージを認める。）それ以外のカテゴリーは、周回遅れでもラップアウトにしないが、先頭選手がゴールした時点で周回遅れの選手もゴールとする。
- ② JCF 登録高校生男子、エキスパート(C1)、JCF 登録女子において、認められる事故（落車、パンク、自転車の重要部分の破損）に限り、コミッセルの認定により、ニュートラリゼーション 2 周回を与える。
- ③ ニュートラリゼーションについて
 - ✓ コミッセルに片手を上げる等によりニュートラリゼーションを受ける意思を伝えること。
 - ✓ 走路への復帰にあたっては、コミッセルの指示で事故前に位置していた集団に復帰すること。
 - ✓ ニュートラリゼーションを与えられた競技者は最後の 3 周回以降復帰することはできない。
 - ✓ ニュートラリゼーション中に最後の 3 周回が始まり競技者が復帰できなかった場合、または最後の 3 周回以降に認められる事故にあった場合、事故時に位置していた集団の最下位の順位とし、同集団の最後尾と同タイムを与える。
 - ✓ 機材の交換は、明示するピットにおいて、各チームでコミッセルの確認の下で行なうこと。
（上記②の 3 つのカテゴリー以外のカテゴリーについては、任意の位置で機材交換できる。）
- ④ ギア比制限について
 - ✓ JCF 登録高校生男子選手、JCF 登録高校生女子選手は、ギア比制限は行わない。
また、当該カテゴリーの 15 歳、16 歳の選手についてもギア比制限は行わない。
- ⑤ ヘルメットについて
 - ✓ JCF 公認のものを使用すること。（小学生はそれに※準じること）

(※ECE 規格、PSC 規格、ANSI 規格、SNELL 規格、SG 規格のヘルメットの着用を認める)

✓ JCF 公認ヘルメットの確認は公認シールの貼付をもって確認する。

✓ 外観に傷、ひび、はく離等がないこと、衝撃吸収ライナーに割れ、ひび等がないこと。

4. 選手として守るべきこと

- ① 最新の JCF 競技規則に則った自転車を使用すること。
自転車の整備は各自で責任を持って行なうこと。
- ② 参加者は必要に応じて各自でスポーツ安全保険に加入しておくこと。
- ③ 大会中の疾病傷害については、応急処置は行うが、その後は参加者の自己負担、自己責任とする。
※ 必ず健康保険証をご持参下さい。また大会に掛けられている傷害保険（死亡/後遺症 200 万円、入院 3,000 円/1 日、通院 2,000 円/1 日）は、競技中の疾病であっても、事故当日に届け出がない場合、保険が適用されない事があります。軽傷でも、病院に行く可能性がある場合は、救護所にご一報ください。
- ④ 各カテゴリーにおいて、競技中に第三者から飲食物の補給を受けることは認めない。
- ⑤ 蛇行は反則であり、他の選手に危険を及ぼす走行を行った場合には、ペナルティを科す場合がある。
- ⑥ 競技コース全周にかけて競技者と観戦者との接触を避けるため緩衝帯を設けているので、緩衝帯に立ち入らないこと。
- ⑦ 試走時間を含め、各カテゴリーにおいて、自転車・ヘルメットへのカメラ/携帯電話の装着・搭載は認めない。
(選手自身による競技走行中の撮影を認めない。)
- ⑧ 競技場内外の走行については、交通ルール・マナーを遵守し、他の車両の迷惑にならないようにすること。
※ 場外の走行は、移動目的だけとし、アップ目的での走行は一切禁止する。
※ アップゾーンはバックストレート側に設置している。
- ⑨ コースの横断については、設定される横断箇所でのみ行うこと。
- ⑩ クリテリウムについては、コース内側の未舗装エリアでの観戦を認める。
※ ⑨～⑩の詳細は、後日提示されるコースマップを参照のこと。

5. 救急搬送先 依頼病院

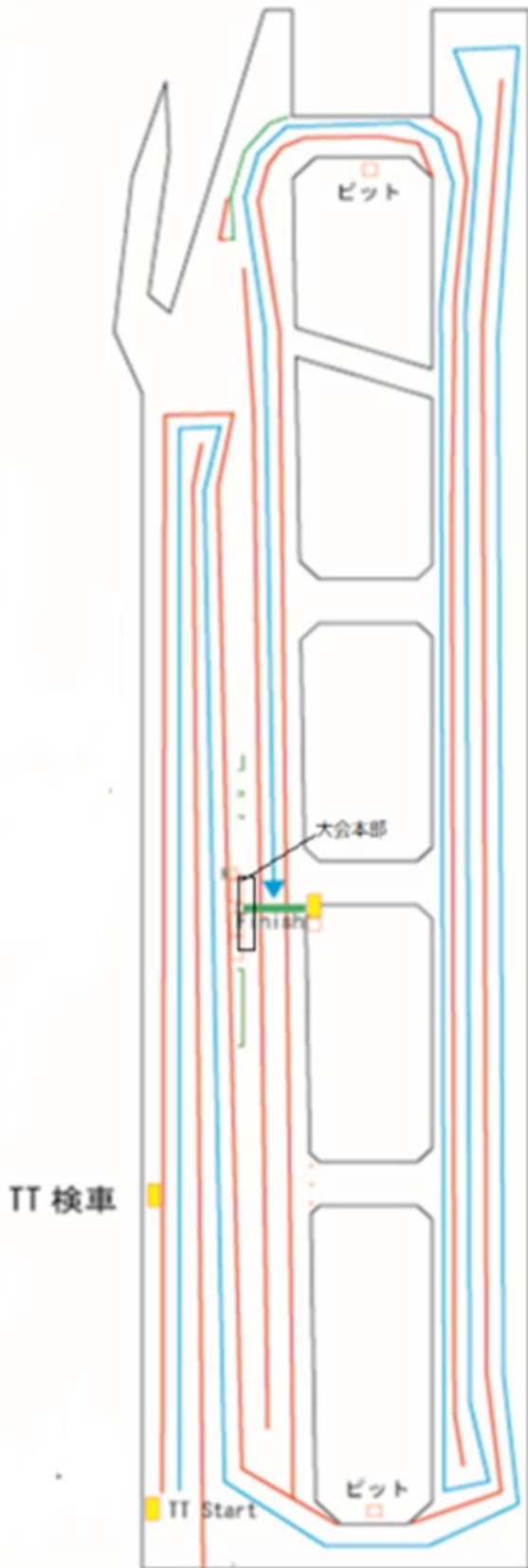
大阪暁明館病院 大阪市此花区九条 5-4-8 06-6462-0261

大野記念病院 大阪市西区南堀江 1-26-10 06-6531-1815

路面状態や設営方法によって、コース取りは変更の可能性があります。

赤・黄実線は、パイロン (約10mピッチ)
水色実線は、選手走行線

4月1日タイムトライアルのコース



4月2日クリテリウムのコース図

